

基準日:2025年10月31日

基準価額の推移



※基準価額(税引前分配金再投資)は、税引前分配金を分配時に再投資したものと計算しています。基準価額は信託報酬控除後です。信託報酬については、後記の「ファンドの費用」をご覧ください。
※上記は過去の実績であり、将来を示唆または保証するものではありません。

騰落率

	1ヵ月	3ヵ月	6ヵ月	1年	3年	設定来
ファンド	6.32%	5.72%	16.15%	12.69%	20.98%	103.10%

※騰落率は、税引前分配金を分配時に再投資したものと計算しています。
ファンドの騰落率であり、実際の投資家利回りとは異なります。
※上記は過去の実績であり、将来を示唆または保証するものではありません。

ファンド概況

基準価額	20,118円	設定日	2008年1月31日
純資産総額	25.5億円	決算日	原則として、 4月、10月の各15日
組入比率			
Amundi Funds エクイティ MENA	97.56%		
Amundi Funds キャッシュ・USD	0.80%		

※組入比率は、純資産総額に対する評価額比です。

分配金実績(1万口当たり、税引前)

決算日	分配金	決算日	分配金
2023年4月17日	0円	2024年10月15日	0円
2023年10月16日	0円	2025年4月15日	0円
2024年4月15日	0円	2025年10月15日	0円
		設定来累計	100円

※直近6期分の分配金実績です。
※分配金は過去の実績であり、将来を示唆または保証するものではありません。
※運用状況によっては、分配金額が変わる場合、または分配金が支払われない場合があります。

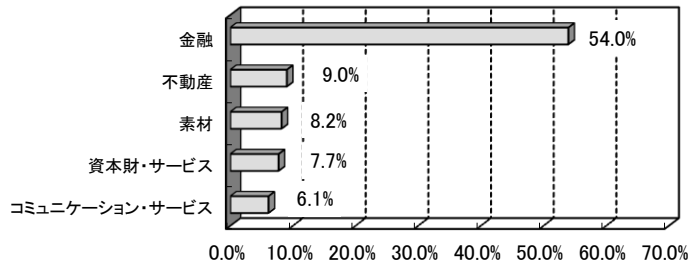
Amundi Funds エクイティ MENAの状況

基準価額の推移



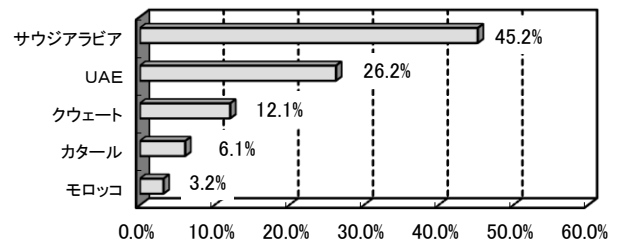
組入上位5業種

※比率は、Amundi Funds エクイティ MENAの組入有価証券評価額に対する評価金額の割合です。業種は、GICS(世界産業分類基準)に基づき分類しております。



組入上位5カ国

※比率は、Amundi Funds エクイティ MENAの組入有価証券評価額に対する評価金額の割合です。UAE(アラブ首長国連邦)は、アブダビ、ドバイなどの首長国から構成される連邦国家です。



期間騰落率(米ドルベース)

(Amundi Funds エクイティ MENAの騰落率です。)

	1ヵ月	3ヵ月	6ヵ月	1年	3年
MENA	2.95%	2.89%	8.40%	14.12%	21.21%

※Amundi Funds エクイティ MENAの騰落率は、アムンディ・アラブ株式ファンドの基準日の1営業日前です。

組入上位5銘柄

※比率は、Amundi Funds エクイティ MENAの純資産総額に対する評価金額の割合です。

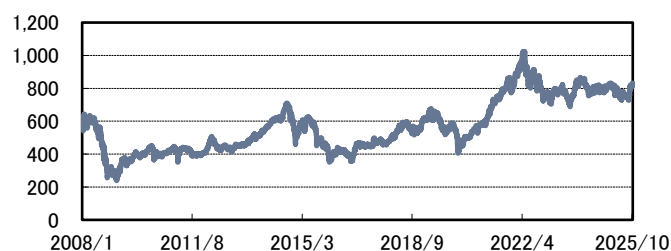
組入銘柄数: 83 銘柄

銘柄名	国名	業種	組入比率(%)	概要
アルラジ銀行	サウジアラビア	金融	9.62%	クレジットカード、保険、自動車金融、貸出、オンラインバンキング、テレホンバンキングなどのサービスを提供するサウジアラビアの銀行。
サウジ・ナショナル・バンク	サウジアラビア	金融	6.18%	当座、貯蓄、定期、その他の預金口座や自動車リース、住宅ローン、外国為替、資産管理、証券仲介、プライベート・バンキングなどの金融サービスを提供する商業銀行。
エマール・プロパティーズ	UAE	不動産	4.46%	不動産会社。中東全域で商業および住宅の開発・買収・管理サービスを手掛ける。
クウェート・ファイナンス・ハウス	クウェート	金融	3.94%	銀行業務、不動産、貿易金融、投資ポートフォリオ、法人・個人・小売向け金融市場において幅広い製品とサービスを提供するクウェート初のイスラム銀行。
ナショナル・バンク・オブ・クウェート	クウェート	金融	3.71%	アラブ域内では最初の国立銀行。クウェートやアラブ地域で商業銀行業務を営む。

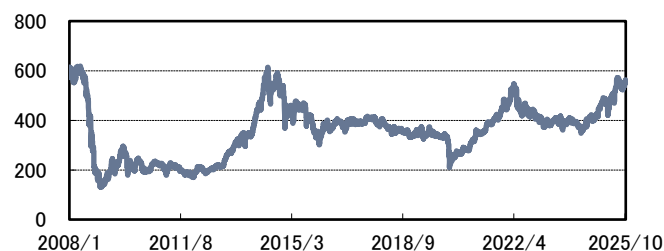
基準日:2025年10月31日

<ご参考> 市場動向(アムンディ・アラブ株式ファンド設定来、現地月末)

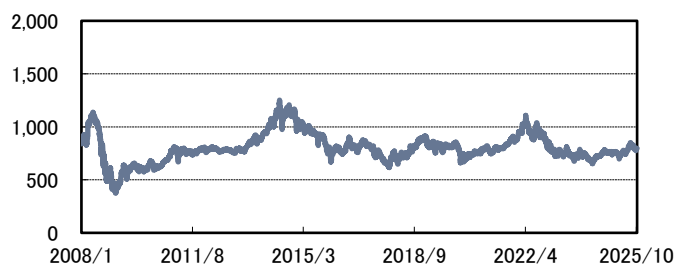
MSCI サウジアラビアドメスティック



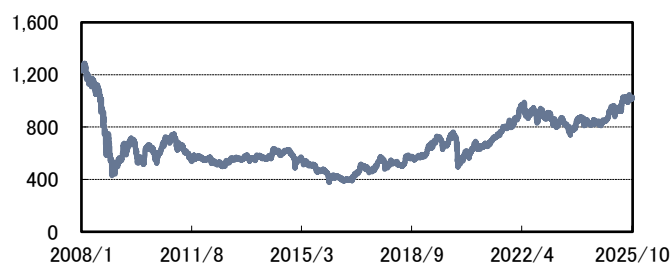
MSCI UAE



MSCI カタール



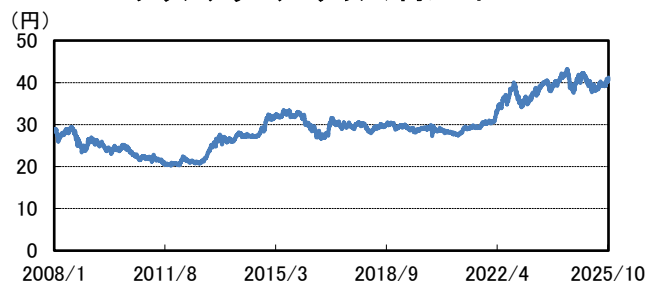
MSCI クウェート



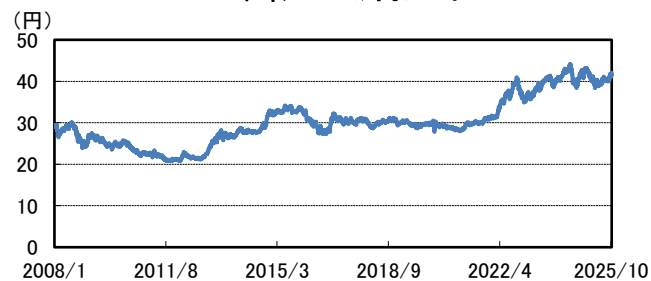
*MSCIの各指数は、MSCI Inc.が開発した株価指数です。同指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利はMSCI Inc.に帰属します。また、MSCI Inc.は、同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有します。

<ご参考> 為替動向(アムンディ・アラブ株式ファンド設定来)

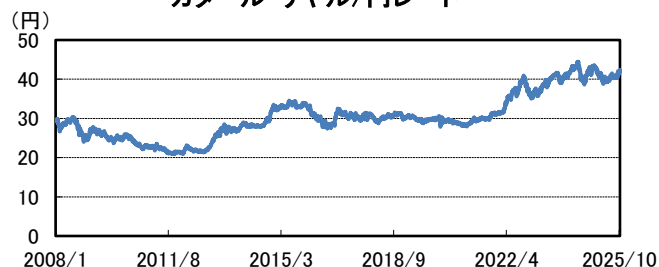
サウジアラビア・リアル/円レート



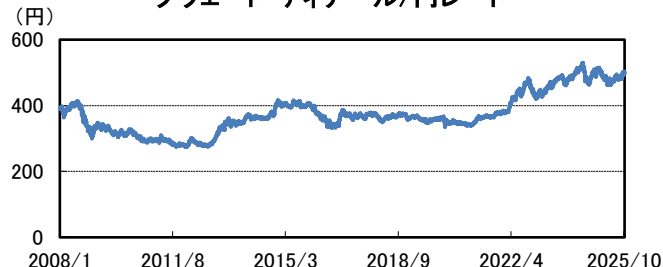
UAE・ディルハム/円レート



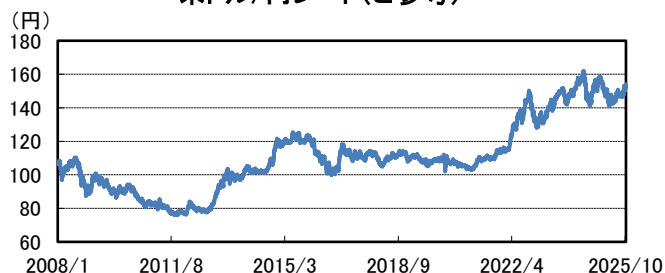
カタール・リアル/円レート



クウェート・ディナール/円レート



米ドル/円レート(ご参考)



※為替レートは、対顧客電信相場仲値です。

P.4の「当資料のお取扱いについてのご注意」を必ずご確認ください。

基準日:2025年10月31日

Amundi Funds エクイティ MENAのファンド・マネージャーコメント

【市場概況】

10月のMENA(中東・北アフリカ)株式市場は、米中の貿易対立の緩和期待が高まったことなどから、グローバルにリスク選好の動きが強まり、おおむね上昇基調で推移する動きとなりました。主要MENA諸国では、UAE(アラブ首長国連邦)やエジプトなどが上昇した一方、カタールが後れをとりました。

【運用結果・投資行動】

当月、当ファンドのパフォーマンスは上昇しました。セクター配分では、サウジアラビアの資本財・サービスや情報技術のオーバーウェイトなどがプラスに寄与しました。国別配分では、UAEのオーバーウェイトなどがプラスに寄与しました。当月は、サウジアラビアの不動産のエクスポージャーを削減した一方、UAEの不動産のエクスポージャーを拡大しました。

【今後の見通し・投資方針】

当ファンドは、中東における紛争に関するボラティリティ(価格変動性)の上昇が、過剰供給などのファンダメンタルズ(基礎的条件)を完全に相殺する可能性は低いと考えています。イランのエネルギーインフラへの攻撃による供給停止は、可能性こそあるものの、原油価格への小幅なプレミアムを示唆するにとどまるとみています。特に、OPEC(石油輸出国機構)の信頼性を回復し、市場シェア回復のために価格引き下げを容認するサウジアラビアの姿勢や、OPECプラス(石油輸出国機構および非加盟産油国)の増産やOPECプラス以外の産油国の供給拡大の動きなどを勘案すると、均衡価格は低下する可能性があるかとみています。MENA株式は高水準のエネルギー価格から引き続き恩恵を受けるとみています。そのため当ファンドは、MENA株式に対して前向きな見通しを持ち、UAEやクウェートを選好しています。ただし、原油価格の動向、地政学的リスク、FRB(米連邦準備理事会)の政策についても、引き続き注視していきます。

※上記コメント内のパフォーマンスは、Amundi Funds エクイティ MENAについてです。

P.4の「当資料のお取扱いについてのご注意」を必ずご確認ください。

ファンドの目的

ファンドは、投資信託証券への投資を通じて中長期的な投資信託財産の成長を図ることを目標として運用を行います。

ファンドの特色

① 主としてアラブ地域を中心とした中東・北アフリカ諸国で事業を展開する企業※に実質的に投資します。

※ サウジアラビア、アラブ首長国連邦(UAE)、クウェート、オマーン、カタール、バーレーン、エジプト、モロッコ、チュニジア、レバノン、ヨルダン等の企業または同地域において主な事業を展開する企業の株式等(これに準じるワラントや債券等を含みます。)を実質的な投資対象とします。実質的な投資対象国はこれらに限定するものではなく変更または増減する場合があります。ベンチマークはありません。

② ファンドはファンド・オブ・ファンズ方式で運用を行います。

◆主としてルクセンブルク籍の外国投資法人「Amundi Funds エクイティ MENA」と「Amundi Funds キャッシュ・USD」に投資します。アラブ地域の企業への実質的な投資は「Amundi Funds エクイティ MENA」を通じて行います。

◆「Amundi Funds エクイティ MENA」および「Amundi Funds キャッシュ・USD」の運用はフランスのアムンディ・アセットマネジメントが行います。

◆投資対象となるサブファンドは追加・変更することがあります。

MENA(ミーナ)地域とは

中東および北アフリカ地域を意味する「Middle East and North Africa」の略称で、湾岸協力会議(GCC)6カ国を中心に形成される経済圏です。

③ 原則として、為替ヘッジは行いません。

◆アラブ地域の多くは、自国通貨を米ドルに連動させる「米ドルペッグ制」の通貨政策をとっています※。このため、アラブ諸国の現地通貨は米ドルの変動に連動しているため、円で投資されるお客様の為替変動リスクは米ドルの円に対する変動とほぼ同じになります。しかし、アラブ地域の一部の国ではインフレを抑制するために通貨を切り上げようとする動きも出ており、将来的に米ドルペッグ制から離脱する可能性もあります。この場合、米ドルとの連動は低くなりますので、為替変動リスクは現地通貨と円の変動が重要となります。

※ クウェートは、2007年5月に「米ドルペッグ制」を廃止し、自国通貨を複数の通貨で構成される通貨バスケットに連動させる「バスケットペッグ制」の通貨政策に移行しました。また、エジプトは、「変動相場制」をとっています。

◆資金動向および市況動向等によっては、上記のような運用ができない場合があります。◆

収益分配金に関する留意事項

●分配金は、預貯金の利息とは異なり、投資信託の純資産から支払われますので、分配金が支払われると、その金額相当分、基準価額は下がります。

●分配金は、計算期間中に発生した収益(経費控除後の配当等収益および評価益を含む売買益)を超えて支払われる場合があります。その場合、当期決算日の基準価額は前期決算日と比べて下落することになります。

また、分配金の水準は、必ずしも計算期間におけるファンドの収益率を示すものではありません。

●投資者のファンドの購入価額によっては、分配金の一部または全部が、実質的には元本の一部払い戻しに相当する場合があります。

ファンド購入後の運用状況により、分配金額より基準価額の値上がり率が小さかった場合も同様です。

投資リスク

ファンドは、投資対象サブファンドへの投資を通じて、主として中東・北アフリカ諸国で事業展開を行う企業が発行する外国株式など値動きのある有価証券(外貨建資産には為替変動リスクがあります。)に実質的に投資しますので、基準価額は変動します。したがって、**投資元本が保証されているものではありません。**ファンドの基準価額の下落により、**損失を被り投資元本を割り込むことがあります。**ファンドの運用による損益は、すべて投資者に帰属します。なお、投資信託は預貯金とは異なります。

基準価額の変動要因としては、価格変動リスク、信用リスク、流動性リスク、カントリーリスク、為替変動リスク等が挙げられます。なお、基準価額の変動要因(投資リスク)はこれらに限定されるものではありません。また、その他の留意点として、ファンドの繰上償還、流動性リスクに関する留意事項等があります。

詳しくは、投資信託説明書(交付目論見書)の「投資リスク」をご覧ください。

＜お申込みの際には、必ず投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。＞

当資料のお取り扱いについてのご注意

■当資料は、法定目論見書の補足資料としてアムンディ・ジャパン株式会社が作成した販売用資料であり、法令等に基づく開示資料ではありません。■当ファンドの購入のお申込みにあたっては、販売会社より投資信託説明書(交付目論見書)をあらかじめまたは同時にお渡しいたしますので、お受取りの上、内容は投資信託説明書(交付目論見書)で必ずご確認ください。なお、投資に関する最終決定は、ご自身でご判断ください。■当資料は、弊社が信頼する情報に基づき作成しておりますが、情報の正確性について弊社が保証するものではありません。また、記載されている内容は、予告なしに変更される場合があります。■当資料に記載されている事項につきましては、作成時点または過去の実績を示したものであり、将来の成果を保証するものではありません。また、運用成果は実際の投資家利回りとは異なります。■投資信託は、元本および分配金が保証されている商品ではありません。■投資信託は値動きのある証券等に投資します。組入れた証券等の値下がり、それらの発行者の信用状況の悪化等の影響による基準価額の下落により損失を被ることがあります。したがって、これら運用により投資信託に生じた利益および損失は、すべて投資者の皆様に帰属いたします。■投資信託は預金、保険契約とは異なり、預金保険機構・保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。また、登録金融機関を通じてご購入いただいた投資信託は、投資者保護基金の保護の対象とはなりません。■投資信託のお申込みに関しては、クーリングオフの適用はありません。

お申込みメモ

購入単位	分配金受取りコースと分配金再投資コースがあります。(コース名称は販売会社により異なる場合があります。)各コースの購入単位は、販売会社が定める単位とします。詳しくは販売会社にお問合せください。
購入価額	購入申込受付日の翌営業日の基準価額とします。
購入代金	販売会社が定める期日までに支払ってください。
換金単位	販売会社が定める単位とします。詳しくは販売会社にお問合せください。
換金価額	換金申込受付日の翌営業日の基準価額から信託財産留保額を控除した価額とします。
換金代金	換金申込受付日から起算して、原則として6営業日目から販売会社においてお支払いします。
購入・換金申込受付不可日	ルクセンブルクの銀行休業日の場合には、受け付けません。ファンドの主要投資先である中東・北アフリカ諸国では、イスラム教の重要な祭日であるラマダン明け祭および犠牲祭等の期間に金融商品市場の休場日が集中する場合があります、その場合、委託会社の判断により、ファンドの購入・換金の申込受付を中止することがあります。
申込締切時間	詳しくは販売会社にお問合せください。
換金制限	換金の申込総額が多額な場合、投資信託財産の効率的な運用が妨げられると委託会社が合理的に判断する場合、諸事情により金融商品市場等が閉鎖された場合等一定の場合に換金の制限がかかる場合があります。
購入・換金申込受付の中止および取消し	委託会社は、金融商品市場における取引の停止、外国為替取引の停止、決済機能の停止、その他やむを得ない事情等があるときは、購入・換金の申込受付を中止すること、および既に受付けた購入・換金の申込受付を取消すことができます。
信託期間	無期限とします。(設定日:2008年1月31日)
決算日	年2回決算、原則毎年4月15日および10月15日です。休業日の場合は翌営業日とします。
収益分配	年2回。毎決算時に収益分配方針に基づいて分配を行います。分配金再投資コースは税引後無手数料で再投資されます。
課税関係	課税上は、株式投資信託として取扱われます。 公募株式投資信託は税法上、一定の要件を満たした場合にNISA(少額投資非課税制度)の適用対象となります。 ファンドは、NISAの対象ではありません。 配当控除および益金不算入制度は適用されません。

ファンドの費用

投資者が直接的に負担する費用

購入時手数料	購入申込受付日の翌営業日の基準価額に、販売会社が独自に定める料率を乗じて得た金額とします。有価証券届出書作成日現在の料率上限は 3.3%(税抜3.0%) です。詳しくは販売会社にお問合せください。
信託財産留保額	換金申込受付日の翌営業日の基準価額に 0.2% の率を乗じて得た金額とします。

投資者が投資信託財産で間接的に負担する費用

運用管理費用 (信託報酬)	実質的な負担の上限:純資産総額に対して年率2.254%(税込)* *ファンドの信託報酬年率1.254%(税込)にサブファンドのうち信託報酬が最大のもの(年率1.0%)を加算しております。実際の信託報酬の合計額はサブファンドの組入状況、運用状況によって変動します。 ※この他に、「Amundi Funds エクイティ MENA」においては成功報酬がかかりますが、運用状況によって変動するためその合計額は記載していません。 「Amundi Funds エクイティ MENA」の基準価額(成功報酬控除前)が、計算期間(7月1日から翌年6月30日まで)において期首の基準価額から参照指数(S&P Pan Arab Large Mid Cap)のパフォーマンスを上回った場合、超過分に対して20%の成功報酬がかかります。成功報酬は、日々計上され(参照指数のパフォーマンスを下回った場合は戻し入れされます)、計算期間終了後にサブファンドから控除されます。
その他の費用・手数料	その他の費用・手数料として下記の費用等が投資者の負担となり、ファンドから支払われます。 ・有価証券売買時の売買委託手数料および組入資産の保管費用などの諸費用 ・信託事務の処理等に要する諸費用(監査費用、目論見書・運用報告書等の印刷費用、有価証券届出書関連費用等を含みます。) ・投資信託財産に関する租税 等 ※その他、サブファンドにおいてはルクセンブルクの年次税(年率0.01%)などの諸費用がかかります。 ※その他の費用・手数料の合計額は、運用状況等により変動するものであり、事前に料率、上限額等を表示することはできません。

- ◆ファンドの費用の合計額については保有期間等に応じて異なりますので、表示することはできません。
- ◆ファンドの費用については、有価証券届出書作成日現在の情報であり、今後変更される場合があります。

委託会社、その他の関係法人の概要

委託会社	アムンディ・ジャパン株式会社 金融商品取引業者 関東財務局長(金商) 第350号 加入協会:一般社団法人投資信託協会、一般社団法人日本投資顧問業協会、日本証券業協会、一般社団法人第二種金融商品取引業協会
受託会社	株式会社りそな銀行
販売会社	販売会社については巻末をご参照ください。
ファンドに関する照会先	委託会社の名称:アムンディ・ジャパン株式会社 お客様サポートライン:050-4561-2500 受付は委託会社の営業日の午前9時から午後5時まで ホームページアドレス:https://www.amundi.co.jp/

販売会社一覧(業態別・五十音順)

金融商品取引業者等		登録番号	加入協会				
			日本証券業協会	一般社団法人 投資信託協会	一般社団法人 日本投資 顧問業協会	一般社団法人 金融先物 取引業協会	一般社団法人 第二種金融商品 取引業協会
株式会社イオン銀行 (委託金融商品取引業者 マネックス証券株式会社)	登録金融機関	関東財務局長(登金)第633号	○				
株式会社SBI新生銀行 (委託金融商品取引業者 株式会社SBI証券) (委託金融商品取引業者 マネックス証券株式会社)	登録金融機関	関東財務局長(登金)第10号	○			○	
株式会社大垣共立銀行	登録金融機関	東海財務局長(登金)第3号	○			○	
株式会社関西みらい銀行	登録金融機関	近畿財務局長(登金)第7号	○			○	
株式会社埼玉りそな銀行	登録金融機関	関東財務局長(登金)第593号	○			○	
ソニー銀行株式会社	登録金融機関	関東財務局長(登金)第578号	○			○	○
株式会社広島銀行	登録金融機関	中国財務局長(登金)第5号	○			○	
PayPay銀行株式会社	登録金融機関	関東財務局長(登金)第624号	○			○	
株式会社りそな銀行	登録金融機関	近畿財務局長(登金)第3号	○		○	○	
SMBC日興証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第2251号	○		○	○	○
株式会社SBI証券	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第44号	○			○	○
岡三証券株式会社 ^{※1}	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第53号	○		○	○	○
OKB証券株式会社	金融商品取引業者	東海財務局長(金商)第191号	○				
香川証券株式会社	金融商品取引業者	四国財務局長(金商)第3号	○				
株式会社証券ジャパン	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第170号	○		○		
東海東京証券株式会社	金融商品取引業者	東海財務局長(金商)第140号	○		○	○	○
内藤証券株式会社	金融商品取引業者	近畿財務局長(金商)第24号	○				○
日産証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第131号	○			○	○
ばんせい証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第148号	○				
ひろぎん証券株式会社	金融商品取引業者	中国財務局長(金商)第20号	○				
マネックス証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第165号	○		○	○	○
むさし証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第105号	○				○
楽天証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第195号	○		○	○	○
リテラ・クレア証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第199号	○				

※1 2025年6月17日より通常の販売を停止しております。

(以下の販売会社は換金のための取扱いとなります)

金融商品取引業者等		登録番号	加入協会				
			日本証券業協会	一般社団法人 投資信託協会	一般社団法人 日本投資 顧問業協会	一般社団法人 金融先物 取引業協会	一般社団法人 第二種金融商品 取引業協会
株式会社横浜銀行	登録金融機関	関東財務局長(登金)第36号	○			○	
明和證券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第185号	○				